



公立大学法人
山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

国際文化学部 国際文化学科 活躍する卒業生の今

山口県や全国で、各学科の学びを活かした職業に
ついている卒業生のみなさんをご紹介します。

message

01



2001年3月(国際文化学部 国際文化学科)卒業 2003年3月(国際文化学研究所)修了

独立行政法人 大学入試センター

■試験問題調査官

大学・大学院の六年間は良き師と友に恵まれ、充実した日々でした。ここでの出会いは一生の宝物で、未だに心の支えとなっています。

また、専門の英語教育だけでなく、幅広い分野の学問を学ぶことができ、母校で培われた「学ぶ」ことの楽しさは現在の自らを突き動かす原動力になっています。一人一人が大切にされる本学は、個々の学びを後押ししてくれる応援団のような存在です。一度しかない人生を大切に生きていく上で、本学は夢の実現に向けて、一人一人の学びをきっときめ細やかにサポートしてくれることでしょう。

2008年3月 卒業

旅する羊毛

■羊毛造形作家

私は現在、旅する羊毛という屋号で、山口県内を中心に個展やワークショップなどを行っています。

在学中は異文化交流論ゼミに所属し、地域行事やフィールドワークなどに参加していました。私の中で大きな経験となったのは、長期休暇を利用しての日本一周の自転車旅で、この時出会った人や自然から、自分が大切にしたいことを教わりました。卒業後、県内の企業に勤めた後、自然の中で暮らしたいと田舎に移住し、そこで羊毛フェルトに出会い今に至ります。

キャンパス外に飛び出し、五感を使って学んだ経験が私の可能性を広げてくれたと思っています。

message

02



message

03



2009年9月 卒業

公益財団法人 山口県国際交流協会

■多文化共生・国際交流

国際文化学科の日本語教員養成課程で、日本語教育実習や留学生の日本語チューターをしたことが特に印象に残っています。在学中はスペイン・ナバラ州立大学に交換留学し、卒業後に再びスペインに渡りました。大学の授業で学んだことや約2年半の海外生活を通して、多様な文化や習慣を尊重する柔軟性や忍耐力を身につけることができました。この経験は一生の財産になっています。現在は、(公財)山口県国際交流協会では地域日本語教育や外国にルーツを持つ子どもの支援等、多文化共生に関する業務を主に担当しています。

2022年3月 卒業

株式会社アイ・イー・シー くるめ国際交流学院

■留学生への日本語教育

在学中は日本語教育、語学や異文化に関する勉強だけでなく、留学生チューター、中国語学文化研修、スピーチコンテストなど、日本語教師になる上で役立つことに積極的に取り組みました。その一つが「学ぶ側の気持ちに寄り添うこと」に繋がっていると感じています。例えば、アジア文化論でヒンドゥー教について深く勉強したことが、ネパール人留学生の背景を知ることに繋がっています。気にも留めていなかったことが思いがけないところで役に立つこともあります。ぜひ沢山のことを経験して、吸収してください。

message

04



2023年3月 卒業

となみ衛星通信テレビ株式会社

■テレビ、インターネット、固定電話、スマートフォン等のサービスの営業 ■顧客対応

私は現在、ケーブルテレビ局の営業職として働いており、テレビ等のサービスの営業やお客様対応を中心に行っています。

本学で学んだことで一番活かされているのは、「いろいろな人と話す」ということです。本学では、多様な文化や価値観を持つ人と出会いたいという思いから、英語をはじめとした外国語の勉強に注力していました。営業では、幅広い世代の方と関わり、時には海外から移住して来られた方の対応をすることもあります。お客様の希望を聞き、それぞれに最適なサービスを提案するように心がけています。

message

05

